

## 薬物乱用防止教室を開催しました

11月28日(木)に、練馬区薬剤師会の齋藤英男先生をお招きして、薬物乱用防止教室を行いました。喫煙、飲酒、薬物の話を分かりやすく説明していただきました。自分とは関係ない遠い話だと思っていたかもしれませんが、いつも飲んでいる薬も容量や用法が間違っていると薬物乱用になるということ学びました。また、少し前に話題となった大麻グミや大学生の大麻所持、オーバードーズ(薬の過剰摂取)などの話もしてくださいました。質問コーナーでは、多くの疑問が寄せられ、真剣に取り組んでいる様子が伺えました。



薬物乱用は心と体をボロボロにするだけでなく、家族や友人を巻き込み、大事な人生を台無しにしてしまいます。「自分は大丈夫」「一度だけなら」「ちょっとだけなら」といった安易な考えは危険です。薬物乱用の恐ろしさを正しく理解し、絶対に手を出さないようにしましょう。



### 感想から

- ★薬物乱用は、違法な薬物だけでなく、市販薬の使い方を無視することでもなることが分かった。今までも薬物乱用はいけないとわかっていたが、今日の授業を聞いて改めてやってはいけない理由が分かった。
- ★薬物の過剰摂取や危険薬物は、20才以上の方がするものだと思っていたけれど、中学生や小学生などの学生がやっていて驚いた。また、形が変わっているものもあると知ったから、薬局で買ったもの以外は使わないようにしましょうと思った。
- ★薬物は、形を変えたものもあると知って、もし自分が知らずに買ってしまったらどうしようと少し怖くなりました。薬物や飲酒や喫煙は、自分の体に影響することを知って、やらないようにしましょうと思いました。
- ★シンナーがマジックに入っていることや、小学生や中学生が薬物乱用を行ったなど、自分が思っているよりももっと身近に危険があるということを知れた。また、より身近なお酒やたばこなども十分危険なものであることが分かった。
- ★今日の授業を聞いて、私は薬の使い方は、場合によっては自分自身の未来を壊してしまう可能性があるので、気をつけたいと思いました。
- ★まず薬物は、何があっても絶対にやってはいけないと改めて思いました。また、薬物を見た目ではわからないようにしているものもあることが、とても怖いと思いました。
- ★私たちと年がそう変わらない人たちが、薬物を使用していると知り、いつかどこかで自分がそのような目に遭うかもしれないと不安になりました。小学校の時よりも情報量が多く、より詳しい事実が分かり、どのようにしたら巻き込まれないか家族とも相談したいです。
- ★大麻をやる人はどんな傾向があるのか知りたい。中高生で誘われてやっている人は、どんな人に誘われているのか知りたい。

